

この時期になると、地上にもたくさんの野鳥が見られます。シジュウカラやヤマガラのように、単独行動が多いものもありますが、種類によっては集団で現れるものもあります。「カワラヒワ」もその一つです。

「カワラヒワ」（河原鶉／アトリ科）は「河原」の名を冠しますが、実際にはほとんど日本全角、高原の森林から都市の公園まで、非常に幅広く分布しています。羽色が黄褐色で慣れないとウグイスと見間違いますが、ウグイスよりもずっと見かける機会が多く、尾も黒いので見分けられます。鳴き声は何種類かあり、私には「ジューン」とか「キュルルル」と聞こえることが多いです。

よく晴れた日の午後によく集団で現れます。動画に映っているのは2羽ですが、この日は1ダースぐらいの集団で、地面に落ちている樹木の種子（カラムツ、モミ、アカマツなど）を盛んに食べていました。

（2024年4月中旬／北軽井沢）

